

山王病院 外来部門の紹介

山王病院の外来部門は、1階に35の診察室と化学療法室や点滴室、2階に5つの診療科と検査室や内視鏡室、3階に歯科があります。各専門に特化した常勤医約80名と非常勤医師を配置し、月～土曜日に診療を行っています。1日の平均外来患者数は約800名、多いときには1,000名を超えることもあります。北は北海道から南は沖縄まで全国から来院され、うち2割程度は外国人の患者様がいらっしゃいます。

現在外来では、感染対策に特に重点を置いて勤務しています。総合案内看護師がトリアージを行い、発熱スクリーニング外来を設置して、院内感染を防止するための水際対策を実施しています。また、感染対策に関する勉強会や防護服着用者のレクチャーを行うなど、外来看護師全体のレベルアップを図っています。

外来看護師の業務は、主に医師と患者様の間をつなぐ役割、患者様への指導や教育、検査や手術の説明、医師の診療の介助などがあります。患者様が短い時間の中でも、安心・納得して診療を受けてお帰りいただけるよう、日々、安全で温かな医療を提供すべく業務に励んでいます。

1階 外来

- ①内科・がん局所療法センター
- ②女性腫瘍センター・婦人科
- ③化学療法室
- ④点滴処置室
- ⑤皮膚科
- ⑥呼吸器センター
- ⑦消化器センター
- ⑧脳神経外科
- ⑨泌尿器科
- ⑩乳腺外科
- ⑪整形外科
- ⑫小児科



1階外来の紹介

整形外科と泌尿器科で勤務しています。

患者様の主訴から、その疾患を知り、それに適した検査や治療を患者様自身が理解して受けていただけるよう、診察介助を心がけています。症状の個人差は大きく治療方針は異なるため、日々学ぶことが多く、注射や処置の手技も多く身につけることができます。経験豊富な先輩方が丁寧にサポートしてくれるので安心して働くことができます。

(外来看護師 2年目 N・N)



新館1階
外来診察室にて

病棟に入職し、産休・育休を経て、現在は育児時短で外来で勤務しています。復帰前は育児と仕事が両立できるのか不安でしたが、理解ある上司や同僚の皆さんが温かくサポートしてくれるため、残業もほとんど無く、育児や家事の時間を確保することができています。外来業務は、診療科が多岐に渡るため、幅広い知識と限られた情報からアセスメントし、介入する必要があります。病棟での経験を活かしながら、新しい知識やスキルを身につけることができ、スキルアップにもつながっています。(外来看護師 8年目 K・Y)

2階外来 リプロダクション・婦人科内視鏡治療センターの紹介

リプロダクションでは、患者一人一人に寄りそった不妊治療を考え、人工授精や体外受精、胚移植を行っています。不妊治療は、まずその原因を知ることから始まり、一般的な不妊検査の他、特殊検査として子宮内膜炎検査や子宮内菌叢（フローラ）検査、子宮着床能（ERA）検査など様々な検査を行っています。また、2018年には卵巣機能不全外来が開設され、PRP療法や着床前胚染色体異数性検査（PGT-A）の臨床研究に参加するなど、不妊治療の分野において最先端の医療を提供しています。

不妊治療は、精神的なサポートも重要となります。不妊認定看護師や不妊カウンセラーが在籍し、不妊カウンセリングや体外受精説明を実施するなど、専門性を活かした看護を提供し、患者が安心・安全に治療が受けられるようサポートしています。専門性の高い分野ですが、リプロダクションにおける最先端の医療や看護を学ぶことが出来る環境にあり、不妊認定看護師や不妊カウンセラーを目指すことができます。



リプロダクションセンター待合室にて
医師、看護師、培養士、事務のみなさん